



2026年3月期 決算短信〔日本基準〕（連結）

2026年5月15日

上場会社名 因幡電機産業株式会社 上場取引所 東
 コード番号 9934 URL <https://www.inaba.co.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 玉垣 雅之
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役執行役員管理本部長 (氏名) 溝越 尚人 TEL 06-4391-1781
 定時株主総会開催予定日 2026年6月26日 配当支払開始予定日 2026年6月29日
 有価証券報告書提出予定日 2026年6月23日
 決算補足説明資料作成の有無 : 有
 決算説明会開催の有無 : 有

(百万円未満切捨て)

1. 2026年3月期の連結業績 (2025年4月1日～2026年3月31日)

(1) 連結経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2026年3月期	417,023	8.6	29,711	16.3	31,756	18.9	23,420	24.7
2025年3月期	384,012	11.2	25,556	19.9	26,698	18.2	18,783	20.2

(注) 包括利益 2026年3月期 34,312百万円 (85.5%) 2025年3月期 18,499百万円 (4.0%)

	1株当たり当期純利益	潜在株式調整後 1株当たり当期純利益	自己資本 当期純利益率	総資産経常利益率	売上高営業利益率
	円 銭	円 銭	%	%	%
2026年3月期	208.49	206.03	12.7	10.7	7.1
2025年3月期	166.92	164.80	11.2	9.9	6.7

(参考) 持分法投資損益 2026年3月期 ー百万円 2025年3月期 ー百万円

(注) 当社は、2025年12月1日付で普通株式1株につき2株の割合で株式分割を行っております。前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して、「1株当たり当期純利益」及び「潜在株式調整後1株当たり当期純利益」を算定しております。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2026年3月期	313,325	197,384	62.9	1,754.68
2025年3月期	278,983	173,023	61.8	1,536.35

(参考) 自己資本 2026年3月期 196,969百万円 2025年3月期 172,429百万円

(注) 当社は、2025年12月1日付で普通株式1株につき2株の割合で株式分割を行っております。前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して、「1株当たり純資産」を算定しております。

(3) 連結キャッシュ・フローの状況

	営業活動による キャッシュ・フロー	投資活動による キャッシュ・フロー	財務活動による キャッシュ・フロー	現金及び現金同等物 期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
2026年3月期	26,909	△6,601	△10,266	76,202
2025年3月期	23,279	△10,455	△8,371	66,062

2. 配当の状況

	年間配当金					配当金総額 (合計)	配当性向 (連結)	純資産配当率 (連結)
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計			
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	百万円	%	%
2025年3月期	—	60.00	—	80.00	140.00	7,871	41.9	4.7
2026年3月期	—	70.00	—	50.00	—	9,569	40.8	5.2
2027年3月期(予想)	—	40.00	—	45.00	85.00		40.3	

(注1) 2025年3月期の期末配当金には、特別配当10円が含まれております。

2026年3月期の期末配当金には、特別配当15円が含まれております。

(注2) 当社は、2025年12月1日付で普通株式1株につき2株の割合で株式分割を行っております。2026年3月期の第2四半期以前の1株当たり配当金については、当該株式分割前の実際の金額を記載し、年間配当金合計は「ー」として記載しております。なお、当該株式分割を考慮しない場合の2026年3月期の1株当たり期末配当金は100円00銭となり、1株当たり年間配当金は170円00銭となります。

3. 2027年3月期の連結業績予想（2026年4月1日～2027年3月31日）

（%表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	436,000	4.6	32,900	10.7	34,400	8.3	23,700	1.2	211.13

※ 注記事項

（1）期中における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無

（2）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：無
- ② ①以外の会計方針の変更：無
- ③ 会計上の見積りの変更：無
- ④ 修正再表示：無

（3）発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2026年3月期	113,659,600株	2025年3月期	113,648,400株
② 期末自己株式数	2026年3月期	1,405,508株	2025年3月期	1,415,208株
③ 期中平均株式数	2026年3月期	112,333,688株	2025年3月期	112,530,192株

（注）当社は、2025年12月1日付で普通株式1株につき2株の割合で株式分割を行っております。前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して、「期末発行済株式数」、「期末自己株式数」及び「期中平均株式数」を算定しております。

※ 決算短信は公認会計士又は監査法人の監査の対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 経営成績等の概況（4）今後の見通し」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当期の経営成績の概況	2
(2) 当期の財政状態の概況	2
(3) 当期のキャッシュ・フローの概況	2
(4) 今後の見通し	3
2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方	3
3. 連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 連結貸借対照表	4
(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書	6
連結損益計算書	6
連結包括利益計算書	7
(3) 連結株主資本等変動計算書	8
(4) 連結キャッシュ・フロー計算書	10
(5) 連結財務諸表に関する注記事項	11
(継続企業の前提に関する注記)	11
(セグメント情報等の注記)	11
(1株当たり情報の注記)	15
(重要な後発事象の注記)	15

1. 経営成績等の概況

(1) 当期の経営成績の概況

当連結会計年度におけるわが国経済は、雇用及び所得環境の改善を背景に個人消費に持ち直しの動きが見られるなど緩やかな回復傾向を示した一方で、物価上昇や金融資本市場の変動、米国の通商政策の影響など景気の下振れリスクもあり、依然として不確実性の高い状況が続きました。

当社グループの係わる電設資材業界は、物流コストや資材価格の上昇などの影響があったものの、大都市圏の再開発や企業の設備投資需要を背景に底堅く推移しました。また、自社製品の係わる空調業界は、全国的な猛暑を背景にルームエアコンの出荷台数が過去最高水準に達する（国内1,002万台 前年同期比6.5%増）など、好調に推移しました。

このような情勢のなか、当社グループは中長期的な経営戦略に沿って重点施策を着実に推進するとともに、積極的な営業活動を展開しました。

その結果、売上高は4,170億23百万円（前年同期比8.6%増）、営業利益は297億11百万円（前年同期比16.3%増）、経常利益は317億56百万円（前年同期比18.9%増）、親会社株主に帰属する当期純利益は234億20百万円（前年同期比24.7%増）となり、過去最高業績を更新しました。

セグメントの業績は、次のとおりであります。

<電設資材事業>

電設資材全般において物流コストや原材料価格の高騰などによる販売価格の上昇が継続しました。大都市圏の再開発や工場、データセンターなど大型物件向けの納入が好調に推移し、商品別では受配電設備や空調設備などの販売が増加したほか、銅価格の高騰が電線ケーブル類の売上に寄与しました。その結果、売上高2,932億89百万円（前年同期比8.2%増）となりました。

<産業機器事業>

半導体関連の在庫調整の影響が縮小したことや、人手不足に伴う省力化・自動化需要の拡大などを背景に製造業における設備投資に持ち直しの動きが見られたことにより、制御機器及び電子部品の販売が増加しました。その結果、売上高433億65百万円（前年同期比13.7%増）となりました。

<自社製品事業>

前年度に価格改定前の駆け込み需要が発生したことや北日本における販売が上振れしたことによる反動減の影響がありましたが、ルームエアコンの出荷が好調に推移したことで主力製品である被覆銅管や空調配管化粧カバー「スリムダクトシリーズ」などの販売が増加しました。連結子会社の㈱パトライトにおいては、半導体業界の市況回復を背景に海外向け販売が増加しました。その結果、売上高803億68百万円（前年同期比7.4%増）となりました。

(2) 当期の財政状態の概況

当連結会計年度末における総資産額は、前連結会計年度末に比べ343億41百万円増加し、3,133億25百万円となりました。これは主に保有株式の時価上昇に伴う投資有価証券の増加によるものであります。

当連結会計年度末における負債総額は、前連結会計年度末に比べ99億81百万円増加し、1,159億40百万円となりました。これは主に保有株式の時価上昇に伴う繰延税金負債の増加によるものであります。

当連結会計年度末における純資産総額は、前連結会計年度末に比べ243億60百万円増加し、1,973億84百万円となりました。これは主に利益剰余金及びその他有価証券評価差額金の増加によるものであります。

(3) 当期のキャッシュ・フローの概況

当連結会計年度における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、前連結会計年度末に比べ101億40百万円増加し、762億2百万円となりました。

当連結会計年度における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

<営業活動によるキャッシュ・フロー>

営業活動の結果得られた資金は269億9百万円（前年同期は232億円79百万円）となりました。これは主に法人税等の支払（88億65百万円）、売上債権の増加（46億75百万円）がありましたが、税金等調整前当期純利益（328億87百万円）があったことによるものであります。

<投資活動によるキャッシュ・フロー>

投資活動の結果使用した資金は66億1百万円（前年同期は104億55百万円）となりました。これは主に投資有価証券の売却による収入（18億23百万円）がありましたが、有形固定資産の取得による支出（48億24百万円）、無形固定資産の取得による支出（12億71百万円）があったことによるものであります。

<財務活動によるキャッシュ・フロー>

財務活動の結果使用した資金は102億66百万円（前年同期は83億71百万円）となりました。これは主にストックオプションの行使による収入（18億79百万円）がありましたが、配当金の支払（84億48百万円）、自己株式の取得による支出（36億63百万円）があったことによるものであります。

(4) 今後の見通し

次期の見通しにつきましては、原材料価格や金融資本市場の動向、米国の通商政策に加え中東情勢の影響など先行き不透明な状況が続くものの、大都市圏における再開発や企業における設備投資需要の継続などを背景に底堅く推移するものと予想されます。

このような見通しのもと、次期の業績予想につきましては、売上高4,360億円（前年同期比4.6%増）、営業利益329億円（前年同期比10.7%増）、経常利益344億円（前年同期比8.3%増）、親会社株主に帰属する当期純利益237億円（前年同期比1.2%増）を見込んでおります。

2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方

当社グループは、連結財務諸表の期間比較可能性及び企業間の比較可能性を考慮し、当面は、日本基準で連結財務諸表を作成する方針であります。

なお、I F R S（国際会計基準）の適用につきましては、国内外の諸情勢を考慮の上、適切に対応していく方針であります。

3. 連結財務諸表及び主な注記

(1) 連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2025年3月31日)	当連結会計年度 (2026年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	62,062	71,302
受取手形	4,011	1,409
電子記録債権	33,751	34,101
売掛金	72,470	79,430
契約資産	25	9
有価証券	15,000	15,000
商品及び製品	22,680	19,969
仕掛品	367	261
原材料及び貯蔵品	2,763	2,465
その他	2,591	3,660
貸倒引当金	△3	△7
流動資産合計	215,720	227,604
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	18,594	18,991
減価償却累計額	△12,687	△13,046
建物及び構築物（純額）	5,907	5,944
機械装置及び運搬具	3,705	3,828
減価償却累計額	△3,195	△3,241
機械装置及び運搬具（純額）	510	586
工具、器具及び備品	8,569	8,339
減価償却累計額	△7,844	△7,564
工具、器具及び備品（純額）	724	774
土地	14,099	13,986
建設仮勘定	165	3,712
その他	28	96
有形固定資産合計	21,435	25,101
無形固定資産	2,673	3,356
投資その他の資産		
投資有価証券	19,974	36,298
長期預金	15,000	17,000
繰延税金資産	328	30
その他	3,857	3,949
貸倒引当金	△5	△14
投資その他の資産合計	39,154	57,263
固定資産合計	63,262	85,720
資産合計	278,983	313,325

（単位：百万円）

	前連結会計年度 (2025年3月31日)	当連結会計年度 (2026年3月31日)
負債の部		
流動負債		
電子記録債務	7,330	7,057
買掛金	75,028	77,917
短期借入金	232	247
未払法人税等	4,941	5,842
前受金	815	1,584
賞与引当金	7,363	7,875
役員賞与引当金	125	135
その他	4,353	4,811
流動負債合計	100,190	105,471
固定負債		
繰延税金負債	54	4,429
退職給付に係る負債	45	62
その他	5,670	5,977
固定負債合計	5,769	10,469
負債合計	105,959	115,940
純資産の部		
株主資本		
資本金	14,521	14,529
資本剰余金	14,729	14,737
利益剰余金	138,223	152,268
自己株式	△2,756	△3,169
株主資本合計	164,717	178,366
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	6,861	17,568
繰延ヘッジ損益	△0	△0
為替換算調整勘定	851	1,034
その他の包括利益累計額合計	7,711	18,603
新株予約権	593	414
純資産合計	173,023	197,384
負債純資産合計	278,983	313,325

(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書
(連結損益計算書)

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (自 2024年4月1日 至 2025年3月31日)	当連結会計年度 (自 2025年4月1日 至 2026年3月31日)
売上高	384,012	417,023
売上原価	318,926	344,412
売上総利益	65,086	72,610
販売費及び一般管理費	39,529	42,898
営業利益	25,556	29,711
営業外収益		
受取利息	161	373
受取配当金	694	1,155
為替差益	35	350
その他	356	345
営業外収益合計	1,248	2,224
営業外費用		
支払利息	19	23
保険解約損	45	88
その他	42	69
営業外費用合計	106	180
経常利益	26,698	31,756
特別利益		
投資有価証券売却益	188	1,140
固定資産売却益	3	6
特別利益合計	192	1,147
特別損失		
固定資産売却損	-	8
固定資産除却損	27	6
減損損失	173	-
関係会社株式評価損	34	-
特別損失合計	235	15
税金等調整前当期純利益	26,654	32,887
法人税、住民税及び事業税	8,416	9,711
法人税等調整額	△545	△244
法人税等合計	7,870	9,467
当期純利益	18,783	23,420
親会社株主に帰属する当期純利益	18,783	23,420

（連結包括利益計算書）

（単位：百万円）

	前連結会計年度 （自 2024年4月1日 至 2025年3月31日）	当連結会計年度 （自 2025年4月1日 至 2026年3月31日）
当期純利益	18,783	23,420
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△399	10,707
繰延ヘッジ損益	0	0
為替換算調整勘定	115	183
その他の包括利益合計	△284	10,891
包括利益	18,499	34,312
（内訳）		
親会社株主に係る包括利益	18,499	34,312

（3）連結株主資本等変動計算書

前連結会計年度（自 2024年4月1日 至 2025年3月31日）

（単位：百万円）

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	13,962	14,171	126,868	△1,411	153,590
当期変動額					
新株の発行 （新株予約権の行使）	558	558			1,116
剰余金の配当			△7,300		△7,300
親会社株主に帰属する当期 純利益			18,783		18,783
自己株式の取得				△2,700	△2,700
自己株式の処分			△128	1,356	1,227
株主資本以外の項目の当期 変動額（純額）					
当期変動額合計	558	558	11,355	△1,344	11,127
当期末残高	14,521	14,729	138,223	△2,756	164,717

	その他の包括利益累計額				新株予約権	純資産合計
	その他有価証券 評価差額金	繰延ヘッジ損益	為替換算調整勘 定	その他の包括利 益累計額合計		
当期首残高	7,260	△0	736	7,996	683	162,269
当期変動額						
新株の発行 （新株予約権の行使）						1,116
剰余金の配当						△7,300
親会社株主に帰属する当期 純利益						18,783
自己株式の取得						△2,700
自己株式の処分						1,227
株主資本以外の項目の当期 変動額（純額）	△399	0	115	△284	△89	△373
当期変動額合計	△399	0	115	△284	△89	10,753
当期末残高	6,861	△0	851	7,711	593	173,023

当連結会計年度（自 2025年4月1日 至 2026年3月31日）

（単位：百万円）

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	14,521	14,729	138,223	△2,756	164,717
当期変動額					
新株の発行 （新株予約権の行使）	8	8			16
剰余金の配当			△8,445		△8,445
親会社株主に帰属する当期 純利益			23,420		23,420
自己株式の取得				△3,663	△3,663
自己株式の処分			△929	3,249	2,320
株主資本以外の項目の当期 変動額（純額）					
当期変動額合計	8	8	14,045	△413	13,648
当期末残高	14,529	14,737	152,268	△3,169	178,366

	その他の包括利益累計額				新株予約権	純資産合計
	その他有価証券 評価差額金	繰延ヘッジ損益	為替換算調整勘 定	その他の包括利 益累計額合計		
当期首残高	6,861	△0	851	7,711	593	173,023
当期変動額						
新株の発行 （新株予約権の行使）						16
剰余金の配当						△8,445
親会社株主に帰属する当期 純利益						23,420
自己株式の取得						△3,663
自己株式の処分						2,320
株主資本以外の項目の当期 変動額（純額）	10,707	0	183	10,891	△178	10,712
当期変動額合計	10,707	0	183	10,891	△178	24,360
当期末残高	17,568	△0	1,034	18,603	414	197,384

(4) 連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (自 2024年4月1日 至 2025年3月31日)	当連結会計年度 (自 2025年4月1日 至 2026年3月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前当期純利益	26,654	32,887
減価償却費	1,718	2,028
減損損失	173	-
賞与引当金の増減額 (△は減少)	1,212	512
役員賞与引当金の増減額 (△は減少)	△9	9
受取利息及び受取配当金	△856	△1,529
支払利息	19	23
投資有価証券売却損益 (△は益)	△188	△1,140
売上債権の増減額 (△は増加)	△369	△4,675
棚卸資産の増減額 (△は増加)	△1,416	2,709
仕入債務の増減額 (△は減少)	5,107	2,604
未払消費税等の増減額 (△は減少)	△151	101
預り保証金の増減額 (△は減少)	92	174
その他の資産・負債の増減額	△1,129	351
その他	275	209
小計	31,133	34,268
利息及び配当金の受取額	848	1,517
利息の支払額	△18	△10
法人税等の支払額	△8,683	△8,865
営業活動によるキャッシュ・フロー	23,279	26,909
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△25,000	△24,100
定期預金の払戻による収入	18,000	23,000
有価証券の償還による収入	500	-
有形固定資産の取得による支出	△1,069	△4,824
有形固定資産の売却による収入	3	58
無形固定資産の取得による支出	△1,588	△1,271
投資有価証券の取得による支出	△1,449	△508
投資有価証券の売却による収入	318	1,823
関係会社の増資のための支出	-	△890
その他	△170	111
投資活動によるキャッシュ・フロー	△10,455	△6,601
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	△232	-
自己株式の取得による支出	△2,700	△3,663
ストックオプションの行使による収入	1,889	1,879
配当金の支払額	△7,299	△8,448
その他	△27	△33
財務活動によるキャッシュ・フロー	△8,371	△10,266
現金及び現金同等物に係る換算差額	113	98
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	4,566	10,140
現金及び現金同等物の期首残高	61,495	66,062
現金及び現金同等物の期末残高	66,062	76,202

（5）連結財務諸表に関する注記事項

（継続企業の前提に関する注記）

該当事項はありません。

（セグメント情報等の注記）

【セグメント情報】

1. 報告セグメントの概要

当社及び連結子会社の報告セグメントは、当社及び連結子会社の構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、取締役会が、経営資源の配分の決定及び業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものであります。

当社及び連結子会社は、独立した事業単位である各本部、各カンパニー、各関係会社を業種別・商品別に区分し、「電設資材事業」、「産業機器事業」及び「自社製品事業」の3つを報告セグメントとしております。

「電設資材事業」は、電線ケーブル類、照明器具、受配電機器等の卸販売を行っております。「産業機器事業」は、制御機器、電子部品、FA関連機器等の卸販売を行っております。「自社製品事業」は、空調用被覆銅管、空調配管化粧カバー、表示灯、回転灯等の製造販売を行っております。

2. 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産、負債その他の項目の金額の算定方法

報告されている事業セグメントの会計処理の方法は、棚卸資産の評価基準を除き、連結財務諸表を作成するために採用している会計処理の方法と概ね同一であります。

棚卸資産の評価については、収益性の低下に基づく簿価切下げ前の価額で評価しております。

報告セグメントの利益は、税金等調整前当期純利益ベースの数値であります。

セグメント間の内部収益及び振替高は市場実勢価格に基づいております。

3. 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産、負債その他の項目の金額に関する情報

前連結会計年度（自 2024年4月1日 至 2025年3月31日）

（単位：百万円）

	報告セグメント				調整額 (注) 1	連結財務 諸表計上額 (注) 2
	電設資材事業	産業機器事業	自社製品事業	合計		
売上高						
外部顧客への売上高	271,054	38,144	74,814	384,012	—	384,012
セグメント間の内部売上高 又は振替高	2,260	641	4,401	7,303	△7,303	—
計	273,314	38,785	79,215	391,316	△7,303	384,012
セグメント利益	16,097	1,881	14,389	32,368	△5,713	26,654
セグメント資産	105,750	14,124	37,879	157,754	121,229	278,983
セグメント負債	68,695	8,427	11,770	88,893	17,066	105,959
その他の項目						
減価償却費 (注) 3	174	18	1,046	1,238	479	1,718
受取利息	0	—	7	7	154	161
支払利息	0	0	63	64	△45	19
特別利益	0	0	2	3	188	192
特別損失	1	0	230	233	2	235
有形固定資産及び無形固定 資産の増加額	163	17	766	947	1,745	2,693

当連結会計年度（自 2025年4月1日 至 2026年3月31日）

（単位：百万円）

	報告セグメント				調整額 (注) 1	連結財務 諸表計上額 (注) 2
	電設資材事業	産業機器事業	自社製品事業	合計		
売上高						
外部顧客への売上高	293,289	43,365	80,368	417,023	—	417,023
セグメント間の内部売上高 又は振替高	2,611	513	4,606	7,731	△7,731	—
計	295,901	43,878	84,975	424,755	△7,731	417,023
セグメント利益	18,511	2,459	16,267	37,238	△4,350	32,887
セグメント資産	105,783	15,917	38,453	160,154	153,170	313,325
セグメント負債	69,718	9,741	11,613	91,073	24,867	115,940
その他の項目						
減価償却費 (注) 3	183	16	1,084	1,284	743	2,028
受取利息	0	—	4	5	368	373
支払利息	7	1	53	63	△39	23
特別利益	2	0	1	4	1,142	1,147
特別損失	2	0	11	13	2	15
有形固定資産及び無形固定 資産の増加額	242	4	1,153	1,401	4,906	6,307

(注) 1. 調整額の内容は以下のとおりであります。

(1) セグメント利益

（単位：百万円）

	前連結会計年度	当連結会計年度
セグメント間取引消去	86	84
全社損益※	△5,362	△3,960
その他の調整額	△438	△474
合計	△5,713	△4,350

※全社損益は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費、営業外損益及び特別損益であります。

(2) セグメント資産

（単位：百万円）

	前連結会計年度	当連結会計年度
全社資産※	125,490	155,932
その他の調整額	△4,261	△2,762
合計	121,229	153,170

※全社資産は、主に報告セグメントに帰属しない現金及び預金、本社土地建物及び投資有価証券であります。

(3) セグメント負債

(単位：百万円)

	前連結会計年度	当連結会計年度
全社負債※	21,324	27,635
その他の調整額	△4,258	△2,768
合計	17,066	24,867

※全社負債は、主に報告セグメントに帰属しない未払法人税等、預り保証金及び賞与引当金であります。

(4) 減価償却費の調整額は、主に報告セグメントに帰属しないソフトウェアの減価償却費であります。

(5) 受取利息の調整額は、主に定期預金利息であります。

(6) 特別利益の調整額は、主に投資有価証券の売却益であります。

(7) 有形固定資産及び無形固定資産の増加額の調整額は、前連結会計年度においては主に基幹系業務システム等の設備投資額であり、当連結会計年度においては主に研究開発施設「イノベーションセンター」の建設等の設備投資額であります。

2. セグメント利益は、連結損益計算書の税金等調整前当期純利益と調整を行っております。

3. 減価償却費には、長期前払費用の償却額が含まれております。

【関連情報】

前連結会計年度（自 2024年4月1日 至 2025年3月31日）

1. 製品及びサービスごとの情報

セグメント情報に同様の情報を開示しているため、記載を省略しております。

2. 地域ごとの情報

(1) 売上高

本邦の外部顧客への売上高が連結損益計算書の売上高の90%を超えるため、記載を省略しております。

(2) 有形固定資産

本邦に所在している有形固定資産の金額が連結貸借対照表の有形固定資産の金額の90%を超えるため、記載を省略しております。

3. 主要な顧客ごとの情報

外部顧客への売上高のうち、連結損益計算書の売上高の10%以上を占める相手先がないため、記載はありません。

当連結会計年度（自 2025年4月1日 至 2026年3月31日）

1. 製品及びサービスごとの情報

セグメント情報に同様の情報を開示しているため、記載を省略しております。

2. 地域ごとの情報

(1) 売上高

本邦の外部顧客への売上高が連結損益計算書の売上高の90%を超えるため、記載を省略しております。

(2) 有形固定資産

本邦に所在している有形固定資産の金額が連結貸借対照表の有形固定資産の金額の90%を超えるため、記載を省略しております。

3. 主要な顧客ごとの情報

外部顧客への売上高のうち、連結損益計算書の売上高の10%以上を占める相手先がないため、記載はありません。

【報告セグメントごとの固定資産の減損損失に関する情報】

前連結会計年度（自 2024年4月1日 至 2025年3月31日）

(単位：百万円)

	報告セグメント				調整額	連結財務諸表計上額
	電設資材事業	産業機器事業	自社製品事業	合計		
減損損失	—	—	173	173	—	173

「自社製品事業」において、売却予定資産について、帳簿価額を回収可能価額まで減額し、当該減少額を減損損失（173百万円）として特別損失に計上しました。その内訳は、建物及び構築物108百万円、機械装置及び運搬具30百万円、工具、器具及び備品2百万円、土地13百万円、建設仮勘定18百万円であります。

当連結会計年度（自 2025年4月1日 至 2026年3月31日）

該当事項はありません。

【報告セグメントごとののれんの償却額及び未償却残高に関する情報】

該当事項はありません。

【報告セグメントごとの負ののれん発生益に関する情報】

該当事項はありません。

（1株当たり情報の注記）

前連結会計年度 （自 2024年4月1日 至 2025年3月31日）		当連結会計年度 （自 2025年4月1日 至 2026年3月31日）	
1株当たり純資産	1,536.35円	1株当たり純資産	1,754.68円
1株当たり当期純利益	166.92円	1株当たり当期純利益	208.49円
潜在株式調整後1株当たり当期純利益	164.80円	潜在株式調整後1株当たり当期純利益	206.03円

（注）1. 当社は、2025年12月1日付で普通株式1株につき2株の割合で株式分割を行っております。前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して1株当たり純資産額、1株当たり当期純利益及び潜在株式調整後1株当たり当期純利益を算定しております。

2. 1株当たり当期純利益及び潜在株式調整後1株当たり当期純利益の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前連結会計年度 （自 2024年4月1日 至 2025年3月31日）	当連結会計年度 （自 2025年4月1日 至 2026年3月31日）
1株当たり当期純利益		
親会社株主に帰属する当期純利益 （百万円）	18,783	23,420
普通株主に帰属しない金額（百万円）	—	—
普通株式に係る親会社株主に帰属する当期純利益（百万円）	18,783	23,420
普通株式の期中平均株式数（株）	112,530,192	112,333,688
潜在株式調整後1株当たり当期純利益		
親会社株主に帰属する当期純利益調整額 （百万円）	—	—
普通株式増加数（株）	1,451,386	1,343,443
（うち新株予約権（株））	(1,451,386)	(1,343,443)
希薄化効果を有しないため、潜在株式調整後1株当たり当期純利益の算定に含めなかった潜在株式の概要	—	—

（重要な後発事象の注記）

該当事項はありません。